

令和5年10月2日

報道関係者 各位

令和5年度図書ボランティア研修会の開催について

標記の件につき、下記のとおり開催しますので、お知らせします。

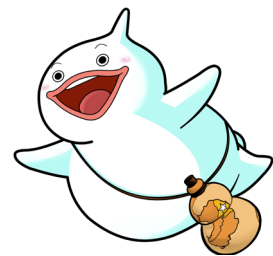
記

1. 名称 令和5年度図書ボランティア研修会「子どもの本の選び方」
(主催：島原市教育委員会)
2. 日時 10月20日(金) 19時～20時30分
3. 場所 森岳公民館 大ホール
4. 講師 川口 かおる 氏 (株式会社童話館出版 編集企画室 室長)
5. 申込 電子申請または電話で教育委員会社会教育課へ申し込み
6. 内容 第3次島原市子ども読書活動推進計画の一環として実施。講座は、主に図書ボランティアを対象とした内容であるが、だれでも参加可能。詳細は、チラシ参照。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会社会教育課
社会教育文化班 担当：林田
電話：0957-68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

令和5年度図書ボランティア研修会

子どもの本の 選び方



主催：島原市教育委員会

子どもへ読み語りをするとき、子どもからおすすめ本を聞かれたとき、どのような本を選べばよいのでしょうか？子どものためのよい本とは、どのような本なのでしょうか？

そのような悩みを解決するヒントとして、子どものための本を作り、子どもに手渡す本を提案し続けている専門家が、子どもための本の選び方についてお話しします。

◆日時 10月20日(金)
午後7時～8時30分

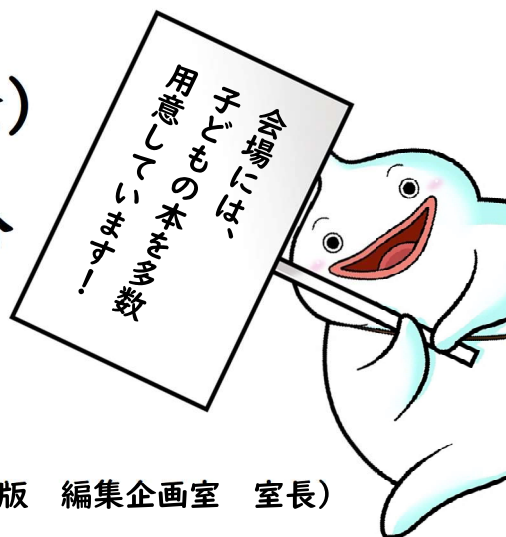
◆場所 森岳公民館 大ホール

◆講師 川口 かおる 先生 (株)童話館出版 編集企画室 室長

◆対象 小中学校・図書館・公民館図書ボランティア、
子どもの本に興味がある方ならどなたでも！

◆申込 島原市教育委員会社会教育課へ
電話または電子申請で申込み

電話 0957-68-5473



参加申込み用
二次元コード

担当からの
メッセージ

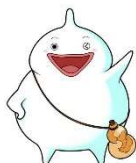


童話館は、1981年に長崎市で児童書専門書店として設立されました。絵本と子どもに関する長年の経験をもつ会社です。今回、会場には童話館出版の本をたくさん用意しています。子どもの本の作り手の思いをお聞きし、多くの図書ボランティアの悩みである「本の選び方」について、実際に本を手に取りながら、皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

【講師プロフィール】

川口 かおる（かわぐち かおる）先生

1974 年長崎県生まれ。活水女子大学文学部卒業。卒業後は、福岡市と長崎県の中学校で国語科の教員として勤務。その後退職し、こどもの本の童話館グループ(株)童話館、(株)童話館出版へ入社。現在は、編集企画室の室長として、編集や執筆、販売促進の仕事などに携わっている。



「第3次島原市子ども読書活動推進計画」のご紹介

島原市子ども読書活動推進計画とは、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）第9条第2項の規定に基づくものであり、本市の子ども読書活動を総合的に推進することを目的に策定するものです。「第3次島原市子ども読書活動推進計画」は、令和2年度から5年間の計画でスタートし、「本市における読書活動に関わる個人や団体、機関の協力により、市民が一体となって子どもの読書活動を推進する。」ことを基本方針としています。

子どもたちの読書活動をより豊かなものにするためには、まずは大人が読書に親しむことが必要です。そして、図書ボランティアの皆さんの活躍は、子ども読書活動の推進になくてはならないものであり、大切なものです。



計画の詳細は市 HP をご覧ください。

子ども読書を進める合言葉！ **しまばら 家庭教育 三・三・七拍子！**

1 家族の団らん・きずな
家族の会話・ふれあいを大切に



会話は家族の基本です。子どもの話を良く聴き、心が通い合う家庭の雰囲気をつくりましょう。

3 家庭学習・読書
進んで勉強！ 楽しく読書！



家庭学習は確かな学力を身につけ、読書は豊かな心を育てます。「毎日、机に向かう」ことを習慣にしましょう。

7 メディアとの
つき合い方
使い方はルールを決めて



テレビ・スマホ・ゲーム機などの長時間の使用は、子どもの成長に良くない影響があります。家庭でルールをつくりましょう。

3 親は生きる力の「伝授者」
子どもは 親の
強くて温かい言葉を待っています



親の思いや願いをしっかりと伝え、子どもの価値観や道徳性、生きる力をはぐくみましょう。